

2002年(平成14年)1月4日(金曜日)

「親子がくらしオで話題」

お父さん、育児を母親任せにしていませんか。名古屋市の12月定例会で父親の育児参加を呼び掛けた公明党の三輪芳裕議員の一般質問が、地元紙や東海地方のテレビ、ラジオ番組で取り上げられ、話題に。

お父さん、育児を母親任せにしていませんか。名古屋市の12月定例会で父親の育児参加を呼び掛けた公明党の三輪芳裕議員の一般質問が、地元紙や東海地方のテレビ、ラジオ番組で取り上げられ、話題に。

お父さん、育児を母親任せにしていませんか。名古屋市の12月定例会で父親の育児参加を呼び掛けた公明党の三輪芳裕議員の一般質問が、地元紙や東海地方のテレビ、ラジオ番組で取り上げられ、話題に。

「父親の絵が少ない」 育冊

◇名古屋市議会の公明市議◇

読み聞かせ推進提言も紹介

催を提言するなど、絵本を利用した父親の育児参加の促進を主張。特に3歳児の健康診査の際に保健所の窓口で配布される冊子【写真】のさし絵が「お母さんと子どもが触れ合う絵ばかり」と指摘し、反響を呼んだ。

例えは、3カ月診査で配布される冊子には父親と子どもが遊ぶ絵が1点のみ。

三輪議員は「お父さんは育児に関係なくてもよいのかなと思うくらい少ない」と疑問を投げ掛けた。

市側は三輪議員の質問を受け、乳幼児の健康診査で配布する冊子を見直すことや、父親の読み聞かせの重要性を理解してもらおう講座などを開催する方針を示している。

この指摘に注目したテレビ、ラジオ番組は質問内容を紹介し、三輪議員も番組に登場し、乳幼児の健康診査に訪れるのは母親がほとんどでも、お父さんの絵がある冊子を見れば、お母さん



さんと一緒に見てもらいたいと思うはず」と、父親の育児参加を促す効果も述べた。また、地元紙やラジオ番組では三輪議員が中学1年生と小学5年生の父親で、自身の体験をもとに読み聞かせの推進を提言した点についても紹介した。